

令和二年度

付属中学校入学試験問題

国語

〔注意事項〕

- 一、試験開始の合図があるまで、問題を開かないこと。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、出身小学校名、氏名、受験番号を解答用紙に記入すること。
- 四、試験終了の合図があったら鉛筆をおき、解答用紙の回収がすむまで席を立たないこと。

〔一〕 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「オ・モ・テ・ナ・シ」

多くの日本人にとっては、この言葉から東京オリンピックが始まった。二〇一三年にアルゼンチンのブエノスアイレスで行われたIOC（国際オリンピック委員会）総会の、二〇二〇年夏のオリンピック開催地を決めるプレゼン¹で滝川クリステルさんが発した言葉だ。一音ごとに区切り、テレビ画面に向かって左から右に、チュウリップのつぼみを一輪ずつ並べるように、上向きのすぼめた指を移動させながら「オ・モ・テ・ナ・シ」、そして最後に合掌²して「オモテナシ」とむすぶ映像を、一度ならず何度も見た人が多いと思う。

ところで、この「オ・モ・テ・ナ・シ」は滝川さんの原稿³ではひらがなで書かれていたのだろうか、①カタカナで書かれていたのだろうか。いや、左から右に移動する手の動きからすると、ローマ字表記だったのかもしれない。最後の「オモテナシ」の一番高い音程の場所が、二音目の「モ」ではなく一番目の「オ」であったのも、外国人が聞き手であることを意識したアクセントだといえる。およそ、五つの音からなる日本語で、一番目の音が高く発音されるものは、②無いのではないか。

「二期一会」という四字熟語がある。「一生（二期）に一度限りの出会い（一会）」²と思い、できる限りの『おもてなし』をしましょう」という意味で用いられるが、もとは千利休（豊臣秀吉に重く用いられた茶人）の言葉らしい。二度とくり返されることのない出会いなのだから、茶会には、亭主（むかえる者）も客（招かれる者）も、たがいにまごころをもつてのぞまなければならぬというものだ。一生に一度限りの出会いという表現に、「何を大げさなことを」と思っ**て**はいけない。利休が生きた③時代、今日同じ茶会で濃茶（お茶の一種）を回し飲みした者同士が、次の日には戦場で敵味方になって命をうばい合っ**て**もおかしくない。今日別れたら二度と生きて会えないかもしれないことが当たり前な時代において

は、「一期一会」は実感をともなった言葉だったはずだ。④、むかえる者も招かれる者もたがいに相手を敬い、まごころをもって向き合うこととなる。

今、まわりにはお手軽な「おもてなし」があふれかえっている。外国のクルーズ船（娯楽や観光を楽しむための船）が寄港したといえれば地元の幼稚園児が太鼓をたたいて歓迎し、豪華列車が駅に停車するといえれば近辺の高校の吹奏楽部が演奏にかけつけ「おもてなし」をする。列車が通過する沿線のお年寄りが、車窓からの眺めが良いように清掃活動をしたというニュースが、心温まる話題として放映されることもある。そこまでいくと、身分制度のない現代に、クルーズ船や豪華列車の乗客はご主人様で、幼稚園児・高校生・お年寄りのご主人様を喜ばせるために仕えるしもべか、と感ずることさえある。「おもてなし」には、両者の間に対等な関係があることと、おたがいを尊重する姿勢が不可欠だ。⑤、お客様のごきげんをとるだけの「おもてなし」にはそれが感じられない。

今年の夏には⑥東京オリンピックピックが開催され、多くの外国の方をむかえることになる。そのときわたしたちはどのような「おもてなし」をするのだろうか。出会った第一声は「ハロー」ではなく、まず自国のことばで心をこめて「こんにちは」「ようこそ」と声をかけたい。音を立てて食事をするのは西洋料理では無作法だそうだが、「外国の方がいらつしやる

きは、音を立てずにお蕎麦を食べましょう。」などということにはなつてほしくない。ここは日本だ。外国の方をお蕎麦屋さんにさそい、小気味よく音を立ててすすりこむ食べ方を教えてあげたいものだ。また、東京オリンピックピックの話題が出たときには、第一音が高い「トウキョウ」ではなく第二音が高い「とぅきょう」と発音しよう。そして二度と会えないかもしれないお客様に「⑦モチナシ」ではなく精一杯の「お⑧てなし」をしたいと、わたしは思うのだ。

問一 — 線部1「プレゼン」とは何の略語ですか。もとのことばをカタカナで書きなさい。

問二 — 線部2「チューリップのつぼみを一輪ずつ並べるように」のような表現のしかたを何といいますか。二字で答えなさい。

問三 — ① ④ ⑤ に入る最も適当なものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ それとも ウ だから エ つまり オ ところで

問四 — 線部3「ローマ字表記だったのかもしれない」について、

1 ローマ字で「オモテナシ」と書きなさい。(例 高水 ↓ TAKAMIZU) ※小文字も可

2 「ローマ字表記だったのかもしれない」と筆者が思った理由を、解答らんにかたじけなく、それぞれ二十文字以上三十文字以内で二つ書きなさい。

問五 — ② ⑥ に入る最も適当なことばを、それぞれひらがな四字で書きなさい。なお、②は「ほ」ではじまり、

⑥は「い」で始まることばです。

問六 — ③ に入る最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 奈良^{なら} イ 平安 ウ 鎌倉^{かまくら} エ 戦国 オ 江戸^{えど}

問七 — 線部4「両者」がさすものを二つ、これより前の段落からそれぞれ五字でぬき出しなさい。

問八 — 線部5「それ」がさすものを二つ、それぞれ文中より十字程度でぬき出しなさい。

問九 — 線部6「無作法」と同じ読み方をする「無」をふくむものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 無責任 イ 無愛想 ウ 無意味 エ 無記名 オ 無神経

問十 — 線部7「④モテナシ」ではなく精一杯の『おもてなし』をしたい」とはどのようなことですか。文中のことばを使って、五十字以上六十字以内で答えなさい。

問十一 次の会話を読んで、あとの問いに答えなさい。

だいき「このあいだ、お父さんに英語で自己しようかいをしてみたって言ったら、『マイ・ネーム・イズ…』って言うんだよ。」

けんた「古すぎー！『マイ・ネーム・イズ…』じゃなくて、今は『アイム（アイ・アム）…』だよねえ。」

みさき「ところで『アイム』のあとには姓を先に言うの？それとも名が先なのかなあ？」

あおい「外国の人が名乗るときは、名が先で姓があとだから、昔の英語の教科書では名が先だったらしいよ。英語は外国の人に話すときに使うんだから、相手に伝わりやすいようにということだったんじゃないかなあ。」

みさき「今でも名が先なの？」

けんた「今は、日本人が日本語で話すときと同じ順番、つまり姓・名の順番になっているみたい。ぼくたちは日本人だから、わざわざ順番を逆にするなんて変だよ。」

だいき「そういえばパスポートも姓・名の順番だよね。」

みさき「でも、このあいだお兄ちゃんが外国の友だちに送った英文のメールを見せてもらったら、名・姓の順番になってたわよ。」

けんた「おまえのお兄ちゃんって何時代の人なんだよ？」

みさき「平成生まれよ！外国人の友だちと話をするとき、姓ではなくて名前呼び合うのがふつうだから、まず相手に知ってほしい名の方を先に書くんだって言ってたわ。」

あおい「相手に何を知ってほしいのかっていうことも大事なところね。」

みさき「飛行機に乗ると機長や客室乗務員の名前をしようかいするよね。この間国内線に乗ったとき、英語でのアナウンスは名が先だったけど、あれもお客さんに名を知ってもらいたいってことかしら？」

あおい「それは単に以前からの習慣が残っているだけで、深い理由は無いと思うわよ。」

だいき「ところで、自分の名前をローマ字で書くとき、困ることは無い？」

みさき「わたしの姓は『小野（オノ）』だから Ono って書くんだけど、『大野（オオノ）』と間ちがえられたことがあるわ。」

だいき「駅名に『大分（Oita）』と書かれているとき、日本人は漢字が読めるから『オオイタ』ってわかるけど、

漢字が読めない外国の人は『オイタ』って読んじゃうかもね。」

あおい「長くのばす音（ー）の書き表し方がてっ底していないのが混乱のもとね。」

だいき「日本に住んでいる外国人の八割がひらがなは読めるけど、ローマ字を読めるのは五割なんだって。」

あおい「外国の人のほとんどが、日常でアルファベットを使っている国の人だという思いこみも間ちがっているかもね。」

1 次のア～エについて、四人が話した内容と合っていれば○、ちがっていれば×をそれぞれ書きなさい。

ア 現在、英語の自己しようかいでは「アイム（アイ・アム）」で始めるのがふつうである。

イ 昔の英語の教科書では、日本人の名前を姓・名の順番で書いていた。

ウ 長くのばす音（ー）のローマ字での書き表し方が、必ずしも統一されていない。

エ 日本に住んでいる外国人については、ローマ字を読める人の方がひらがなを読める人よりも多い。

2 「おもてなし」について書いた文章の筆者と、外国人に対する接し方についての考え方が最も近いのは、「だいき」

「けんた」「みさき」「あおい」の四人の中のだれだと思いますか。人名を書き、考え方のどの点が近いかを二十字

以上三十文字以内で答えなさい。

問十二 外国からのお客さんに自分のことをしようかいするとき、あなたは姓と名のどちらを先に言いますか。あなたの考えを、理由をふくめて百字以上百二十字以内で書きなさい。ただし、句読点も一字として数えます。

(二)

次の1～10の——線部の漢字の読みをひらがなで答え、カタカナを漢字に直しなさい。

- 1 彼には度胸がある。
- 2 容姿が素晴らしい。
- 3 寒さが骨身にこたえる。
- 4 有名な作品の模写。
- 5 何でも使えて重宝する。
- 6 国民をキュウサイする。
- 7 ユウビン局で切手を買う。
- 8 見晴らしの良いテンボウ台。
- 9 ナンカイな文章を読む。
- 10 活発なトウギが行われる。

(三)

次の1～4は類義語を、5～8は対義語を答えなさい。ただし、類義語も対義語も一字共通のものが答えとなります。

例 応答 || 返答

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1 原料 | 2 信用 | 3 運送 | 4 案外 |
| 5 決算 | 6 消極 | 7 間接 | 8 悲観 |

〔四〕

次の漢字を組み合わせて、熟語を作りなさい。ただし、全ての漢字を使うとは限りません。

例 頁 水 土 令 或 ↓ 領域

- 1 丁 行 火 圭 田
- 2 口 吾 衣 玉 言
- 3 見 刀 立 木 七
- 4 心 里 求 今 王

〔五〕

次の（ ）内の意味になるように、□の中に漢字一字を入れなさい。

- 1 □で鼻をくくる。(冷たくあしらう。)
- 2 □を売る。(仕事をなまける。)
- 3 □に乗る。(思い通りになって調子づく。)
- 4 焼け□に水。(わずかな努力では何の役にも立たないこと。)

〔六〕

次の——線部の言葉を正しい敬語に直しなさい。

- 1 私が、生徒会長の鈴木だ。
- 2 お話は確かに聞きました。
- 3 どのようなお仕事をしていたのですか。
- 4 中村先生からもらったプリントを配る。

〔七〕

次の4コマ漫画は、それぞれ新聞に連載されていたものです。両者に共通しているものは何ですか。また、そう考えた理由も説明しなさい。

